

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-4-2	事務事業名 市道の新設改良及び拡幅事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市民の安全性・利便性・防災面に配慮した市道の新設改良・拡幅・舗装補修その他必要とする工事を行う。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)道路・交通の整備(安1-2) (主要施策)生活道路の整備
	実施内容、実施方法 工事箇所路線については前年度に点数化による優先順位路線を抽出し、道路選定委員会に諮問した後、予算化をして実施する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 1年間に整備する路線数	活動指標の考え方(定義) 目標62路線 813路線(認定市道) ÷ 13年間(工事期間H13~H25)
	成果指標名 市道改良率	成果指標の考え方(定義) 整備路線数 ÷ 全路線数 (舗装構造における設計期間は原則として10年を標準とする。)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		930,043	362,449	319,029	228,573
	国庫支出金	千円				
	都支出金		150,000	25,000	10,000	3,000
	地方債					
	その他					
	一般財源		780,043	337,449	309,029	225,573
	所要人員(B)	人	4.8	4.8	4.8	4.8
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	39,581	39,710	39,974	39,974
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	969,624	402,159	359,003	268,547
	単位当たりコスト (E)=(D)/(事業費÷整備路線数)	千円	48,481	36,560	32,637	
歳入	千円					
活動指標	目標値	路線			62	62
	実績値	路線	20	11	11	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	%				
	実績値	%	2.46	1.35	1.35	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	道路整備に関する市民要望は高い
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 8-4-2	事務事業名 市道の新設改良及び拡幅事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	------------------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	年間整備路線数における目標値と実績値の差異
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	道路管理者として市道を常時良好な状態に保つよう努める。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	工事路線の決定については、整備対象路線を抽出して「道路整備選定委員会」に諮り進めているため、効率性については問題はない。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	工事路線の決定については、整備対象路線を抽出して「道路整備選定委員会」に諮り進めているため、公平性については問題はない。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	道路管理者として、さらなる道路改良率向上に努めたい。

17年度における改善点	舗装構造・施工方法等従前の考え方に捕われない工夫により、コスト削減を図っている。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。